



さいごくかいどう・いのくちれきしのさんぽみち

西国街道・いのくち歴史の散歩道

]平成24年度認定 / 広島市西区 / 井口・鈴が峰魅力づくり委員会

海・村そして街道 そこに先人の営みがあった。

いのくち
井口の歴史は古く、付近から5世紀前半の大和朝廷時代の古式須恵器が出土されています。平安時代には平清盛が厳島神社建立の際に鈴が峰から切り出した木材を井口の岬の先にあった小島(小己斐島)から木印を押して厳島に送り出しました。江戸時代に入ると広島藩は幕府巡見使を迎えるため、藩内の街道を整備し井口にも一里

塚が設置され、街道の道幅は2間半(約4.5m)に定められました。この頃西国街道は井口に入ると、山越えと浜伝いの二つの道に分かれていました。山越えの道には旧井口村と旧阿瀬波村との間に小己斐峠(井口峠)があり、関西では街道の難所の一つとして知られていました。一方浜伝いの道については、小己斐明神のある海辺の



昭和初期の小己斐島周辺。
左手の海にみえる小島(小己斐島)。
今でも街中の公園の中に現存しています。
平安時代、厳島神社建立の際には、鈴ヶ峰から切り出した木材をここから厳島へ送り出しました。
(広島市公文書館所蔵)

いのくちの昔に
想いを馳せる



海に面していた頃の井口村



村時代の町並。昭和初期、井口海岸に面し広島郊外随一の景勝地として知られた

近道で潮が満ちては通過が困難であったため、山越えのほうを本道としていました。今でも龍神山の入口100mは、ほぼ当時の姿のままで残っています。望月山と称された龍神山の山頂からの美しい眺望を昔の人々は見ることができたようです。その山頂からの景観を「眺望絶景、瀬戸内海の風景一眸の内にあり月明の稚趣は比類稀なり、かつて頼山陽この地に遊び一夜月を賞して、この山に望月山と命名し一詩を賦したりといふ」との記述が大正7年(1918年)発行「佐伯郡誌」にあります。

今、井口には当時の街道や町並が昔のまま残っているところはほとんどありませんが、

当時の歴史的な建造物は現存しています。昔、小己斐明神は、井口の海辺にあった小島にありましたが、昭和46年から始まった西部開発事業により埋立てが進み現在は、公園の池の中にあります。満潮になると海水が入りボラやチヌが回遊し、当時の名残をとどめますし、龍神山入口の正順寺の前の川も潮が満ちると海の香りが漂ってきます。また道路拡幅により伐採された街道松はその切り株が、町の薬局に保存展示され井口の歴史を語りかけています。

海・畑・山林は町となり、人々の暮らしは大きく変化しましたが井口に先人たちの暮らしがあったことがしのべられます。

先人達の暮らしがここにあったことを傳承したい。



「井口・鈴が峰魅力づくり委員会」の楠義雄さん(左)、楠勲二さん(中)、本西文雄さん(右)

井口は開発が進み住宅が増加し、故郷・井口の歴史を知らない子どもたちが多くなってきました。そこで井口・鈴が峰地域の埋もれた西国街道の歴史文化遺産を発掘・修復し、見どころや魅力を分かりやすく紹介、次世代に継承することを目的に平成18年マップづくり委員会からスタートし、現在は「井口・鈴が峰魅力づくり委員会」としてまちづくり市民活動を行っています。住民有志が作成した「いのくち歴史ロマン」の散策マップを手にとり西国街道の名残をたどってみませんか。

草津まち歴史の散歩道 P145

散策マップあります



岩国往来 P153

- ① 八幡川
- ② 餓鬼の首地蔵
- ③ 街道松
- ④ 塩釜神社
- ⑤ 道路碑
- ⑥ 小己斐明神
- ⑦ 昔の井口港
- ⑧ 村時代の町並
- ⑨ 正順寺
- ⑩ 大歳神社
- ⑪ 西国街道跡
- ⑫ 龍神山
- ⑬ 首なし地蔵
- ⑭ 一里塚跡
- ⑮ 「鈴峰」石碑



鈴ヶ峰の中腹にある「鈴峰」の石碑。
明治31年に浅野長勲公の揮毫により建立されたものです。平成13年の芸予地震で倒れましたが、復元されました。

龍神山

眼下には小己斐島や宮島、遠くは瀬戸の島々が展望でき、街道を往還する人々が旅の疲れを癒しました。



交通 ● 井口公民館まで
五日市ICから車で約20分
広島高速3号線商工センターから車で約10分
広島電鉄「修大協創中高前駅」から約0.7km
お問い合わせ ● 井口公民館
☎082-277-9258

ぶらり歩いてみよう

八幡川



①

延長20.9kmの二級河川で、その流域は広島市西部地域の社会・経済・生活・文化の基盤を成しています。また河口付近には干潟が広がり、県内有数の水鳥の飛来地として知られています。

道路碑



⑤

井口より廿日市に通じる新しい海沿いの道が開通した記念碑で明治10年に建立されました。この新道でかつての峠越えの難路が解消され、人々の往来と物資の流通が円滑に行われるようになりました。

小己斐明神



⑥

その昔、平清盛が厳島神社を造営の際、鈴ヶ峰から木を切り出し刻印を打ち後を組む、この明神の浜から送り出したこと「木印の明神」といわれ、のちに「小己斐明神」といわれるようになりました。

大歳神社



井口の総氏神。伝承では万寿元(1024)年に創建されたと伝えられています。境内には樹齢400年を経た大樹や自然植生がよく残っています。

西国街道跡



小己斐山(現在の龍神山)の峠越えは、西国街道西日本における険しい難所でした。その山道入口から約100mが、ほぼ昔の西国街道の姿で残っています。

一里塚跡



江戸日本橋を基点に設置された塚(土盛り)である一里塚は全国の街道にあり、井口にも設置されました。

イベント・活動

西国街道ぶらり旅～井口編～



井口の魅力ある歴史を後世に伝えるために平成19年から一般を対象に開始され、平成21年からは子どもを対象にしたぶらり旅も実施されています。

西国街道いのくち歴史の散歩道案内板を14ヶ所に設置



平成21年に設置されました。西国における重要な街道として、往時を偲ばせる歴史的な建造物などが現存しており、歴史の散歩道のポイントとして分かりやすく解説されています。

西国街道いのくち総合案内板整備



平成22年と平成26年に整備された案内板です。広島電鉄井口駅北側及びJR新井口駅と大型商業施設(アルパーク)をつなぐ歩道橋に設置されています。

井口・鈴ヶ峰魅力づくり委員会

井口・鈴ヶ峰両公民館区のまちおこし活動の一環として、地域内の埋もれた歴史文化遺産を発掘・修復し、広く地域住民に見どころや魅力を分かりやすく紹介しています。さらに、貴重な遺産を保存活用して、後世に継承するまちづくり市民活動を目指し発足されました。

みんなが集まる
交流施設

井口公民館

次世代を大切にする井口。公民館では子ども向け講座など開催しており、地域の交流の場として活躍しています。



オススメ周辺情報

- 宮島・厳島神社
- 鈴ヶ峰ハイキングコース